

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町役場 健康推進課保健係（助産師）

やまなみ わたる
山並 航さん

「助産師がいてよかったと思ってもらえるように頑張ります」と話すのは、4月から雄武町役場の助産師として勤務する長野県出身の山並航さん。

雄武町に来る前は、東京都小笠原諸島の母島にある診療所で助産師として勤務されていて、その前には、フィリピンやネパールなどで赤十字社の海外救援に従事された経験もあるそうです。

そんな経験豊富な山並さんに助産師を目指した理由について聞いてみると「母親が看護師で医療職が身近だったこともあり、医療職に進むことは決めていました。その中で、助産師を目指したのは、大学の助産師のコースの実習で、お産の現場に立ち合い、普通であれば一生涯に数度しかない子どもの誕生という大事な

タイミングに、毎日のように立ち会わせてもらえることに魅力を感じたからです」と話してくれました。

現在の主な業務は、母子手帳の発行や乳幼児健診など妊婦と子どもに関わる母子保健業務を担当。「役場に勤務するのは初めてで、事務作業など慣れないことが多く、職種の違いを感じることもあり、仕事に慣れることに精一杯ですが、役場に勤める助産師として、自分に何ができるのかを模索中です。

雄武町に住む子育て世帯の皆さんののびのびと子育てができる環境を作り、子育てが楽しいと思ってもらえる町を作りたいです」とこれからの意気込みについて力強く話してくれました。

山並さんの今後の活躍に期待です。



雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

❖編集後記 Editor's note

▼7月26日から2024年パリオリンピックが行われ、4年に1度の祭典に世界中が注目しています。その中、日本人選手が今まで培ってきた技を遺憾なく発揮し、メダルを大量獲得している状況に、手に汗握ってしまいます。8月11日まで続きますが、テレビの前で精一杯応援したいと思います（松井）